

後期高齢者の免許証更新

加藤 誓 (ちかい)

「これから検査を始めます。聞こえたら手を挙げてください。」

平成31年1月下旬、自動車学校での「認知機能検査」が始まった。

「そこの方、回答中は、声を出さないようにしてください。」

試験官の大きな声で試験場に緊張が走る。



自己判断では、私は認知症ではない。

その上、テストを受けるからには100点をと、

昨夜インターネットで問題を下調べしている。

2問が終り いよいよ一番重要な16の絵の 記憶検査に入った。

最初の4つの絵が出た。試験官が「これは、戦車です。」全員が復唱をする。

突然、85歳超の方が「タンクではいけませんか」試験官は困ったように「戦車です」と。

私は、「よしゃ！ABCDの中のBパターンだ。

徹底的に予習をしたから大丈夫！」



そして「数字を消す作業問題」が終わった後、試験官が

「少し前に、何枚かの絵をお見せしました。できるだけ全部書いてください。」

問題用紙3を裏返した途端に頭の中が真っ白になった。

一夜漬けで 4つのパターンの絵を全て何回も見過ぎたため、

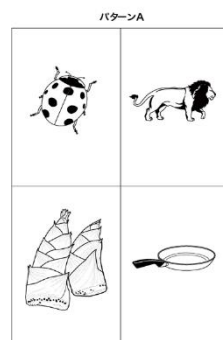
Bパターンはどれだったか区別が付かなくなったのだ。

うさぎは、思い出したが 虫の項目はトンボかテントウムシか

セミか どれも昨日の絵が浮かびBはなんだったか わからない。

先程の「タンク事件」で笑い 復唱をいい加減にしたバツだ。

従って、ヒントが出ても、カナヅチかハサミか迷ってしまった。



結果は、すれすれの合格であった。

帰り際、注意を受けたご婦人とタンク事件の二人が試験官に呼ばれていた。

不合格であったと思われる。

この検査は、認知症の検査ではない。判断力、記憶力の検査とは書いてはあるが。

こんなもので「逆走」や「ブレーキの踏み間違い」「不注意」の有無が分る筈がない。

昔の車はブレーキの遊びが多く高齢者は、ブレーキをグーと踏む癖が

付いているのも誤発進の一因だと 私は勝手に思っている。

車は進歩し、既に 誤発進予防の車が出回り、近い将来 自動運転に

なろうかというのに……。 認知症検査でもないこのテストの意義を疑う。

2月中旬 また、自動車学校で、5,100円支払い2時間の講習と実車指導を受ける。

そして、誕生日の15日後、免許証更新手続きのため駐車場工事中の

平針運転試験場に公的交通機関で行く。1日仕事だ。

通知が来てから半年後 やっと、新しい免許証を手にした時、

100点取れなかった悔しさか、ゴールドが青になった悔しさか、

何となく、すっきりしない気分で 年老いた自分の写真を 眺めていた。

免許証を見るたび そのことを思い出す。

